



すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

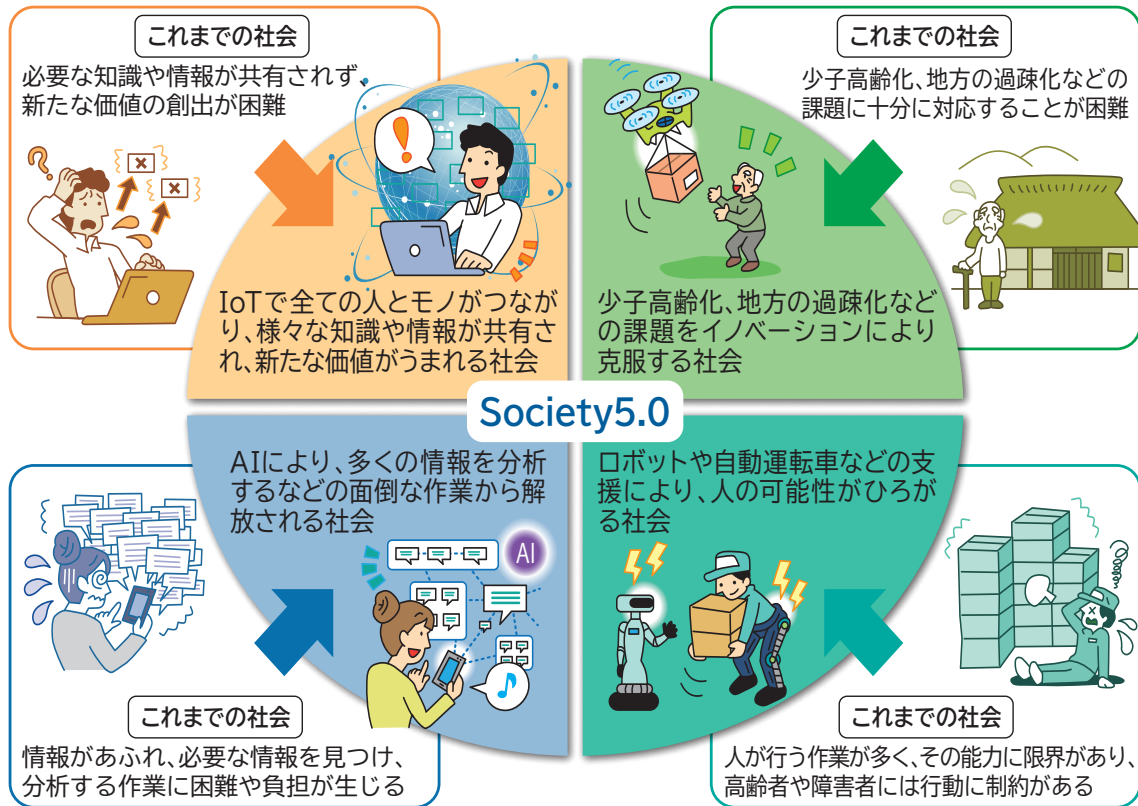
「Society5.0」の実現に向けて

Society5.0とは

サイバー空間※とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)のことで、必要なモノやサービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供することができるようになります。

※コンピュータやネットワーク上に構築された仮想的な空間

～Society5.0で実現する社会～



(内閣府ウェブサイトから引用)

新しい技術を使って、問題を解決することで、より暮らしやすい世の中になるのね。



県の取り組み

今年度スタートする「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」では、「本県におけるSociety5.0の実現」が重要な取り組み項目として位置付けられています。昨年9月には、産学金官の連携組織「ながさきSociety5.0推進プラットフォーム」を設立しました。今後、このプラットフォームを中心に、ICTの活用やDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、県民の豊かで質の高い生活や産業振興、地域活性化や行政のデジタル化を目指して、本県におけるSociety5.0の実現に向けて取り組みます。



国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構

FFGアントレプレナーシップセンター

(長崎市)



お話を伺ったのは
センター長
やましたじゅんじ
山下淳司さん



県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

起業家を育成し 新産業の創出を支援

当センターは、ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)の寄附講座として、2019年10月、長崎大学内に開設されました。新しい価値創造や課題解決に取り組むアントレプレナー(起業家)人材の育成を目指して、学部生・院生向け教育プログラムをはじめ、社会人向けプログラム、研究者向けプログラムを提供するとともに、大学が持つ技術や知的財産の事業化・実用化を促進し、大学発ベンチャー創出を支援しています。



センター主催のワークショップの様子

多彩な教育プログラムで 起業家精神を学ぶ

学部生向けのプログラムでは、多種多様な起業家などの話からアントレプレナーシップ(起業家精神)の基礎を、院生や社会人には、より実務に近いビジネスモデルの作り方やマーケティング、組織論などを学んでもらっています。昨年度はオンライン授業中心でしたが、学部生145名、院生58名、社会人27名が受講し、「将来に不安を感じていたが、未来を開拓していく強さを学んだ」など、前向きな感想をたくさんいただきました。



今年度も社会人向けプログラムが6月からスタートする

長崎のイノベーション 拠点としても活用

当センターの「ラウンジNOVE」は県や大学などが連携して産業振興や地域課題の解決に取り組む「長崎オープンイノベーション拠点」も兼ねており、学生が集いプロジェクトを企画したり取り組んだりする場やセミナー会場などとして活用されています。

将来的には県内の若手起業家やアントレプレナーシップを持った人たちをつなげ、互いの経験や知識、考えを共有できるシステムの構築を目指しています。



社会人向け教育プログラムは、修了要件を満たせば、同大から履修証明書が交付される

失敗を恐れず、自ら考え行動できる
アントレプレナーを育てていきます

